

# 頑張れ九里!

No.16  
2002.12

九里学園高等学校部活動後援会報



国体出場 井沢君（飛板飛び込み）  
8位入賞おめでとう!!

## 新たな飛躍を



部活動後援会会長

須貝 昇

朝晩めっきり寒さが増して、秋から冬へ足早に季節が移るこのごろです。本年も我九里学園生は体育、文化両面で素晴らしい成果をあげております。体育面では、国体県予選会で続々入賞の中、特に走り幅跳びで一年生の舟山一輝君と、女子砲丸投げで同じく一年生の山川舞さんが、各々第一位を獲得しております。県新人戦の弓道では植松伸治君が第一位、東北新人陸上大会でも三〇〇〇mで二年生の中村瑞穂さんが優勝しており、今後の活躍に期待が持てます。又県高校女子駅伝大会では本校が第三位入賞となり東北大会出場権を獲得しております。そして東北総合体育大会では、二〇〇mと走り幅跳びで太田明子さん、砲丸投げで山川舞さんが各々第一位、神奈川で行なわれたインターハイにはバドミントン(女子)、卓球(女子)と共に、陸上部からは三〇〇〇m競歩、リレー、砲丸投げに出場活躍し、高知で行なわれた夏季国体においては飛板飛込みで井沢亮君が堂々第八位に入賞しております。

す。秋季国体には、やはり県選手団の一員として陸上の山内愛さんと中村瑞穂さん、バドミントンの山口美百子さんが出場の予定です。文化面では県高等学校総合文化祭で、ストリングアンサンプル部が県高校文化連盟賞、書道部の渡部知里さんと吟詠剣詩舞部門で神田沙織さん、小浅美沙子さん、村上由さんが共に文化連盟会長賞を受賞し、美術部の江口達哉君が同じく県高校文化連盟賞並びに特選を受賞し、全国総合文化祭への出品権を獲得しております。吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクール東北大会で銅賞を獲得しておるなど、生徒たちの日々の努力に賛美を送ると共に指導者の方々の熱意に感謝いたします。

これらの活動の礎となっており、また、保護者の皆様をはじめとした後援者皆様の暖かい御理解、ご支援の陰でもあります。今後とも生徒たちが大いに活躍できる環境作りの為、変わらぬご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。



# 逆境を乗り越えて！

学校長  
九里 廣志



また雪に埋もれる生活が始まりました。雪と無縁の地域の生活と違い、この数ヶ月をどう乗り切るかは、豪雪置賜に住む私たちのとても大きな課題です。雪囲いを始めとする出費はばかになりませんし、数年前の大雪時のように生活に与える不安もあなだれません。何を好んで、こんな所に住んでいるのだろうかと思き、諸活動に大きな影響を与えるこの雪を、ひたすら疎ましく思っている者も少なくないでしょう。このようにマイナス面の視点からだけ雪を見てしまえば、雪の無い地域とのハンディキャップばかりがクローズアップされますが、それを逆手にとって見ることも大切なようです。

私の小さい頃、雪を片付けることは子供たちの仕事でした。道付けから始まって雪降ろし、春の雪消しなど、さまざまな仕事をこなさなければなりません。楽な仕事ではありませんから、知恵や体力の多くは、これら雪との生活の中で培われたといつて過言ではありません。毎日降る雪をひたす

ら処理する繰り返しですが、いつの間にかいろんな力を与えてくれていたのです。辛い時の忍耐強さも雪国の人の特性。捨てたものではありません。

しかし、最近の若者たちのようすからは、それら雪国人の特性がどんどんなくなり、雪を克服する術も知らず、雪と遊ぶ術も知らず、ただ産まれたから仕方がなくそこにいるだけのような若者が増えています。逆に都会の若者たちが、観光目的や興味本位であっても、雪に果敢に挑戦し、楽しんでいるのです。他人事のような地元の若者たち。どこか不思議です。

昨年の冬、本校の生徒たちも含め、米沢に住む一人暮らしのお年寄り家庭の雪を片付ける中・高校生のようすがマスコミで紹介されました。当り前のように、今年も是非続けて欲しいと期待しています。ボランティアなどと言葉をつけないくとも、自分のために、楽しみながら、工夫しながらです。同時に、当然、各家庭や学校でも同じ行動を取ってくれることを期待しています。



# インターハイ出場選手

## 新たななる挑戦

### 水泳部

(飛び込み)

#### インターハイに出場して



一年 井沢 亮  
(米沢四中出身)

今年インターハイに出場し、3m飛板飛込に出場して結果は、十三位でした。予選通過が十二位までだったので、とてもくやしい結果になりました。十二位の選手と自分の点数の差は、四点でした。だいたい一本の演技で四十点ぐらいでるので、四点差で負けたのは、とてもくやしかったです。3m飛板飛込は、全部で六種目演技して、五種目までは、楽勝で予選通過できるところだったので、最後の一番大事な演技を気をぬいてしまい、最後大失敗してしまいました。八位ぐらいから、十三位まで順位を落としてしまいました。来年のインターハイや国民体育大会では、最後まで気を抜かず最後まで全力で闘いたいと思います。そして、悔いの残らないようにしたいと思います。

### 陸上競技部

(四百MH・四百Mリレー)

#### インターハイを終えて



三年 山内 愛  
(米沢四中出身)

今回、四百MHと四百Mリレーに出場してきました。四百Mリレーでは、結果を残すことが出来ませんでした。自分が、自分そして仲間を信じる『心』が一番だったと思います。来年も後輩達には個人種目やリレーでの全国大会出場を期待しています。個人種目の四百MHでは、自己ベストを出すことが出来ましたが、惜しくも決勝に行くことが出来ませんでした。ここ一番という準決勝では、いつもの自分らしい前半からとばしていく攻めの走りがありました。御指導していただいた先生方、応援してくれた仲間には、とても感謝しています。私には、国体入賞という新たな目標があります。三年間の集大成として、良いものを出していきます。

(槍投げ・砲丸投げ)

#### 私のインターハイ



三年 平 江理子  
(川西二中出身)

この度の茨城インターハイに、私は、砲丸投とやり投に出場しました。全国大会ということもあって、周りの雰囲気のみ込まれないように、ただ一心に前だけを見て投げました。砲丸投は力を出し切れずに終わってしまいました。が、やり投げは、自己新を出すことができました。

私は、まだまだ力不足で、精神力も弱いことも分かりました。日頃の練習を意識的に行おうと思いました。このインターハイに出場できたのは、監督の米子先生、コーチ、仲間、そしていつも陰で支えてくれた家族のおかげです。本当にありがとうございました。

(四百Mリレー)

#### インターハイを終えて



三年 酒井 珠美  
(小国中出身)

個人種目での出場は果たせませんでした。今年も四百Mリレーで出場してきました。三年間、一歩をやってきた私にとって、今回の大会は特別なものでした。メンバーは昨年から一人変わったただけだったこともあり、今年も予選通過が目標でした。しかし、当日はプレッシャーに負け、自分の走りだけでなくに終わりました。三年間の集大成のつもりで臨んだ試合だっただけに、悔しさはとても大きなものでした。でも、良い経験、良い思い出となりました。一緒に走ったメンバーや応援してくれた仲間、家族、それから、今まで指導して下さった米子先生やコーチ、先生方には本当に感謝しています。ありがとうございました。

(四百Mリレー)

#### 最後のインターハイ



三年 横野 友紀  
(玉庭中出身)

私は今年も四百MRでインターハイ



に出場しました。去年も同じ四百MRでインターハイに出場していたのでインターハイの雰囲気は知っていました。二年生から三年生へと学年が一つあがって去年以上の緊張感がありました。でもその緊張感の中にもどこか「楽しみ」な所もありました。結果はバトンバスマスで失格になってしまいました。このリレーメンバーでがんばってやってきたことは一番の思い出になりました。

去年と今年インターハイに出場出来たのは米子先生、コーチ、そして家族と仲間のおかげです。本当にありがとうございました。

(三千M競歩)

### 競歩との出会いから



二年 中村 瑞穂  
(米沢七中出身)

私は、三千M競歩でインターハイに出場することができました。もちろん目標は上位入賞でした。が精神的な弱さからか体調をくずし思うような歩きができず残念な結果に終わりました。全国レベルの高さも知りました。今後、ますます努力し、どんな大きな大会にも自信を持って挑めるように頑張ります。応援ありがとうございます。どうぞこれからも、監督、コーチ、皆さん、ご指導よろしくお願いします。

### (四百Mリレー) 来年へのスタート



二年 甘粕久美子  
(米沢一中出身)

今年のインターハイは四百MRの補欠として出場しました。実際競技場でレーンを走ることは出来ませんでした。が、選手のみなさんをしつかりサポートをしました。会場はとても混雑しており、とくにサブ競技場では、走るスペースがないほど人々で溢れていました。そして招集所では、選手が「よしこれから戦うぞ。」という気迫でいっぱいでした。

今年のインターハイは、出場しただけで競技場で走ることが出来なかった。ので、来年こそは、自分の力で出場出来るようにがんばりたいと思います。そのためには、今からの練習を本気で取り組み、努力したいと思います。

(四百Mリレー)

### インターハイに向けて



一年 太田 明子  
(川西一中出身)

私は、今回四百Mリレーの補欠としてインターハイに出場しました。私は、

先輩方の姿をみて、たくさんのことを学ぶことができました。来年は、私が、インターハイに出場して、個人種目とリレーで自分の力を発揮できるようにこれからの、冬期練習をがんばり春からいきおいよくタイムを伸ばせるようにしていきたい、レベルアップしていきたいと思います。来年は、一年生ではなく後輩も入ってくるので、自分のことだけでなく先輩としての自覚をしつかりと持って九里陸上部のプライドを持って来年は、がんばりインターハイに出場したいと思います。

### バドミントン部

(シングルス)

### 来年に向けて



二年 山口美百子  
(川西一中出身)

今回、二回目のインターハイに出場しましたが、去年から、全然成長していないということがはっきりわかる結果になってしまいました。納得のいく試合ができず、ただ出場しただけになってしまいました。今回は「あと一年ある」といわれたけど、「もう一年」しかありません。来年になれば「あと」はもうなくなります。

来年のインターハイに出場するのは



当然の私の役目で、できるからには少しでもいい結果をだせるように、残りの一年間をしつかり練習したいと思う。

# 高文祭吟詠剣詩舞部門 出場選手

## 「新たななる挑戦」

思い出にのこる全国大会

全国の舞台に立つて

### 書道部

#### 貴重な体験



一年 村上 由  
(米沢五中出身)

入部してすぐ、高等学校総合文化祭の全国大会出場の話がありました。中三から剣舞をいろんな場で発表する機会があったので、出場させていただく事にしました。ところが、私の心の隅にあった甘い考えは練習が始まった時から、逆に事の重大さを体感する事になりました。思った以上に厳しい練習、何度もくり返しのやり直し。四人の息がびったり合った初舞台までの月日は、かなり長く、つらいものがありました。一年生は私一人だけど、先生方、先輩方に支えられ、頑張る事ができました。全国大会では、緊張しましたが、ほぼ満足のいく初舞台になって良かったと思います。そして、先輩方が築いて下さった伝統を受け継いでいけたらと思っています。



二年 小浅美沙子  
(高畠四中出身)

私は、全国高等学校総合文化祭で剣舞と書道吟をしてきました。初めて全国大会に行つてとても緊張しました。私は、初めて剣舞をしてみて初めは、とても難しそうで私にできるかすごく不安でした。でも練習しているうちにみんな上手になって、大会当日では米沢工業高校の人と四人みんなでいい剣舞ができたと思います。書道吟では、大勢の前で書道吟を発表するのは初めてで、すごく緊張しました。書道吟は二つ合わせて一つの作品なので、字の大きさなどを気をつけながら練習してきました。本番ではいい作品ができたと思います。剣舞と書道吟の発表が終わったときはとても達成感がありました。先生方ありがとうございました。



三年 神田 沙織  
(米沢四中出身)

私は神奈川県で行われた全国高校総合文化祭に参加してきました。書道吟と剣舞の発表だったわけですが、他県のすばらしい発表に圧倒され、初めての全国大会は緊張と不安でいっぱいでした。とにかく落ち着いて書けるように、と自分に言いかけさせて望んだ本番でしたが、あまりの緊張に自分の中で満足はいく作品にはなりませんでした。剣舞の方は、細かいミスはあったものの全体的にはまとまりのある発表ができたと思います。今回の大会で自信を持って発表するということがどれだけ大切で自分を強くしてくれるかわかりました。とても良い経験、忘れられない思い出になりました。



# 第26回全国高等学校総合文化祭・神奈川大会

## 総合開会式取材

### 新聞部



三年四組  
堀 愛  
(米沢四中出身)

今回、私は、県の高文連より推薦され高文祭の全国大会の開会式を取材してきました。会場で、私達取材班は、開会式を観る人と、舞台裏でインタビュー等をする人、カメラで写真を撮影する人に分かれて取材をしました。私は、舞台裏でのインタビューをしていたので、この高文祭の参加者の方とお客さんとも交流する事ができ、とても楽しかったです。特に、この高文祭の素晴らしいところは、日本全国の高校生と海外の高校生が協力して作りあげているところだと思えます。私は開会式は観られませんが、舞台裏で、発表者の皆さんが一生懸命練習している姿にとっても感激しました。また、彼らと交流する事ができたので、いろいろな国や県の文化や人柄にふれる事で自分の視野がいつそう広がった気がします。それにこの会場のどの人も氣さくに取材に応じて下さったので、と

てもうれしく思いました。本当にこの高文祭に参加できた事は最高の思い出です。

それから、原稿を書き編集するにあたっては、依頼原稿をする際に、うまくいかない事もありましたが、みんなの協力で、なんとか完成しました。そして、この新聞をたくさんの人に読んでもらいたいと思います。



二年五組  
渡辺 藍  
(中津川中出身)

全国高文祭に山形県新聞部代表として取材に行くこと先生に聞かされた時は私にそんな大それた事が務まるかどうか不安になった事を覚えています。しかし、実際神奈川の会場に行っている人な所から集まった高校生を見たら、これから始まることへの期待で不安はなくなりました。私達は総合開会式とパレード。あと美術工芸、書道を直接取材することができました。私が行った美術工芸の展示会場では、作品への生徒一人一人の思いや、それを見た大人の人の感想などたくさん聞けました。最初私は緊張気味でしたが質問す

るとみんな親切に答えてくれたので少しづつリラックスして取材することができました。開会式では、たくさんの高校生の努力と皆さんの協力での総合文化祭が行われているということがわかり、工夫をこらしたレベルの高い舞台は、取材を忘れて楽しむことができました。今思うとすべてが勉強になりすべてが良い経験になったと思います。

今回、全国高文祭に参加して、一番驚かされたのは、神奈川県に日本中、世界中から集った高校生一人一人のパワーでした。私や、私が普段目にしてる県内、市内の高校生達と同じ年代とは思えないほど活気に満ちていて、輝くようでした。



一年七組  
縮 佳那子  
(米沢一中出身)

この大会は、二年間もかけて準備されただけあって、とても素晴らしい、開会式や、各作品の展示会場にも高校生一人一人の努力の成果が形となって表れていて、その迫力に圧倒されました。取材をしたのはたった二日間で、見



れたのは開会式と、書道部門の会場だけでしたが、その短い間だけでも、各地の高校生の力に触れ、その輝きを間近で感じることができました。地域の文化を誇り、自分達の好きな何かに全力で取り組むことのできる、そんな高校生の姿をたくさん見ることができました。私も、彼等と同じく、全力で物事に取り組みたいです。

# 置賜地区春季高校 総体 (5月11日・12日)

## 陸上部



女子1000m

- 2位 横野 友紀 (3年 玉庭)
- 3位 鈴木 祐子 (1年 赤湯)
- 4位 酒井 珠美 (3年 小国)
- 女子2000m
- 2位 横野 友紀 (3年 玉庭)
- 3位 鈴木 祐子 (1年 赤湯)
- 5位 酒井 珠美 (3年 小国)
- 女子4000m
- 1位 山内 愛 (3年 米沢四)
- 3位 横野 友紀 (3年 玉庭)
- 4位 鈴木 祐子 (1年 赤湯)
- 女子8000m
- 1位 高橋真都香 (3年 米沢三)
- 2位 沼澤 美和 (2年 白鷹東)
- 3位 鈴木 美樹 (3年 長井南)
- 女子15000m
- 1位 高橋真都香 (3年 米沢三)
- 2位 沼澤 美和 (2年 白鷹東)
- 3位 中村 瑞穂 (2年 米沢七)
- 女子30000m
- 1位 高橋真都香 (3年 米沢三)
- 2位 沼澤 美和 (2年 白鷹東)
- 3位 長澤 由美 (3年 米沢一)
- 女子3000w
- 1位 中村 瑞穂 (2年 米沢七)
- 2位 長澤 由美 (3年 米沢一)
- 3位 鈴木 美樹 (3年 長井南)

女子1000mH

- 1位 山内 愛 (3年 米沢四)
- 2位 甘粕久美子 (2年 米沢一)
- 5位 鈴木 久子 (2年 上山南)
- 女子 走幅跳
- 1位 酒井 珠美 (3年 小国)
- 9位 太田 明子 (1年 川西一)
- 女子砲丸投
- 1位 平 江理子 (3年 川西二)
- 2位 山川 舞 (1年 米沢三)
- 3位 滝口 裕子 (1年 赤湯)
- 女子円盤投
- 1位 平 江理子 (3年 川西二)
- 2位 滝口 裕子 (1年 赤湯)
- 3位 山川 舞 (1年 米沢三)
- 女子やり投
- 1位 平 江理子 (3年 川西二)
- 8位 小松 恵 (2年 沖郷)
- 女子4000mR
- 1位 酒井 珠美 (3年 小国)
- 鈴木 祐子 (1年 赤湯)
- 横野 友紀 (3年 玉庭)
- 山口 愛 (3年 米沢四)
- 女子16000mR
- 1位 甘粕久美子 (2年 米沢一)
- 横野 友紀 (3年 玉庭)
- 鈴木 祐子 (1年 赤湯)
- 山内 愛 (3年 米沢四)
- 男子1000m
- 5位 遠藤 俊哉 (1年 米沢三)
- 6位 高橋 恵太 (1年 米沢三)
- 男子2000m
- 2位 渡部 誠 (1年 米沢三)

- 3位 高橋 恵太 (1年 米沢三)
- 4位 遠藤 俊哉 (1年 米沢三)
- 男子4000H
- 7位 中塚 将哉 (2年 小国)
- 男子4000m
- 2位 渡部 誠 (1年 米沢三)
- 男子50000m
- 10位 長岡 和宜 (1年 飯豊)
- 男子三段跳
- 5位 舟山 一輝 (1年 小国)
- 男子走高飛
- 4位 舟山 一輝 (1年 小国)
- 男子走幅跳
- 3位 舟山 一輝 (1年 小国)
- 8位 横山 明 (1年 米沢二)
- 男子砲丸投
- 2位 加藤 正俊 (2年 米沢三)
- 男子円盤投
- 2位 加藤 正俊 (2年 米沢三)
- 男子やり投
- 7位 加藤 正俊 (2年 米沢三)
- 男子4000mR
- 2位 遠藤 俊哉 (1年 米沢三)
- 渡部 誠 (1年 米沢三)
- 舟山 一輝 (1年 小国)
- 高橋 恵太 (1年 米沢三)
- 男子16000mR
- 2位 高橋 恵太 (1年 米沢三)
- 遠藤 俊哉 (1年 米沢三)
- 舟山 一輝 (1年 小国)
- 渡部 誠 (1年 米沢三)

## バレーボール部

予選リーグ 九里2-0小国

九里2-0荒砥

九里2-0米沢商業

決勝トーナメント

1回戦 九里2-1南陽

準決勝 九里0-2長井

3位決定戦 九里0-2米沢東

《出場メンバー》

久保田沙織(3年 米沢二)・加藤

恵(3年 米沢二)・井上奈月(3年

川西二)・山田ゆかり(3年 米沢

一)・小林広美(3年 米沢二)・上

地美里(3年 高島二)・渡邊鈴菜

(3年 米沢五)・長澤江梨子(3年

米沢五)・高橋直子(3年 米沢

三)・我妻 瞳(1年 高島二)・近

野憲子(2年 米沢一)・古川瞳美

(2年 飯豊)

## サッカー部



1回戦 九里3-0高島

2回戦 九里0-2米沢工業

順位決定戦

1回戦 九里1-0南陽

2回戦 九里0-2米沢中央

結果6位(県大会出場出来ず)

《出場メンバー》

高橋正樹(3年 南原)・工藤健一郎

(3年 米沢六)・斎藤雅由(3年 米

沢二)・中込弘春(3年 米沢四)・



落合圭祐(2年 米沢四)・本間和仁(2年 米沢二)・江畑智也(2年 米沢四)・安部駿佑(2年 南原)・鈴木翔太(2年 米沢二)・佐藤宏樹(2年 南原)・伊藤陽介(1年 米沢二)・桑原淳志(1年 米沢二)・滝口 怜(1年 米沢二)・山口恒介(1年 米沢三)・荒井友一(1年 米沢四)・新野智広(1年 米沢五)・甘粕勇介(1年 米沢六)・安部 翼(1年 南原)

体操部



男子個人総合

1位 春川 友浩(2年 米沢二)

女子個人総合

3位 安部友希子(1年 米沢二)

バドミントン部



男子団体戦 1回戦 九里1-3南陽

(出場メンバー)

嶋貫拓也(1年 長井南)・竹田邦彦

(3年 米沢二)・大類信一(3年 米沢六)・菊地 努(3年 長井北)・手塚敏春(3年 長井北)

男子ダブルス(2回戦)

山口 法明(1年 米沢三)

下平 隆司(1年 米沢二) 組

0-2 安達・新野組(長井高)

竹田 邦彦(3年 米沢一)

大類 信一(3年 米沢六) 組

0-2 飯沢・竹田組(長井工)

菊池 努(3年 長井北) 組  
手塚 敏春(3年 長井北)  
0-2 色摩・小椋組(南陽)  
男子シングルス(3回戦)  
大類 信一(3年 米沢六)  
0-2 大境(米沢工)

女子団体戦 決勝 九里3-1米沢東

(出場メンバー)

鹿間 幸恵(3年 米沢二)・山口美百子(2年 米沢三)・青木久美(2年 長井南)・鈴木博子(3年 米沢六)・佐藤はるか(3年 米沢二)

女子ダブルス(4回戦)

鹿間 幸恵(3年 米沢二) 組

山口美百子(2年 米沢三)

2-0 長岡・斉藤組(興譲館)

鈴木 博子(3年 米沢六) 組

青木 久美(2年 長井南)

0-2 色摩・佐藤組(興譲館)

準決勝

鹿間 幸恵(3年 米沢二) 組

山口美百子(2年 米沢三)

2-0 渡部・伊藤組(米沢東)

決勝

鹿間 幸恵(3年 米沢二) 組

山口美百子(2年 米沢三)

2-0 佐藤・伊藤組(米沢商)

女子シングルス(4回戦)

山口美百子(2年 米沢三)

2-0 佐藤(米沢商業)

鹿間 幸恵(3年 米沢二)

2-0 伊藤(米沢商業)

準決勝  
山口美百子(2年 米沢三)  
2-0 色摩(興譲館)  
鹿間 幸恵(3年 米沢二)  
0-2 高橋(米沢工業)  
決勝  
山口美百子(2年 米沢三)  
2-0 高橋(米沢工業)

テニス部



男子団体戦 優勝

(出場メンバー)

遠藤慎介(3年 米沢三)・渡部裕史(3年 米沢二)・土屋正輝(3年 米沢二)・鈴木雄大(2年 米沢二)

男子シングルス

2位 加藤 広亮(1年 米沢三)

3位 遠藤 慎介(3年 米沢三)

男子ダブルス

優勝 渡部 裕史(3年 米沢二) 組

鈴木 雄大(2年 米沢二) 組

2位 遠藤 慎介(3年 米沢三) 組

土屋 正輝(3年 米沢二) 組

3位 大比良将太郎(3年 米沢二) 組

斎藤 靖(2年 米沢四)

女子団体戦 優勝

(出場メンバー)

加藤礼子(3年 川西一)・南尚美(3年 米沢二)・情野朋美(2年 米沢五)・情野歩美(1年 米沢五)

女子シングルス  
優勝 情野 朋美(2年 米沢五)  
2位 南 尚美(3年 米沢二)  
3位 情野 歩美(1年 米沢五)  
女子ダブルス  
優勝 情野 朋美(2年 米沢五) 組  
情野 歩美(1年 米沢五)  
3位 加藤 礼子(3年 川西一) 組  
南 尚美(3年 米沢二)

卓球部



女子団体戦 優勝 九里3-0米沢東

(出場メンバー)

佐藤真由美(3年 川西一)・青木朋恵(3年 川西一)・齋藤 希(3年 川西二)・板垣真希子(3年 米沢二)・荒井直子(2年 綾瀬)・佐藤 唯(1年 川西二)・遠藤夢子(1年 長井南)

女子ダブルス

優勝 佐藤真由美(3年 川西一) 組

青木 朋恵(3年 川西一) 組

2位 齋藤 希(3年 川西一) 組

荒井 直子(2年 綾瀬) 組

3位 板垣真希子(3年 米沢二) 組

遠藤 夢子(1年 長井南)

ベスト8

佐藤 唯(1年 川西一) 組

伊丹るりか(1年 米沢三)

女子シングルス

優勝 青木 朋恵(3年 川西二)

2位 佐藤真由美(3年 川西二)

3位 齋藤 希(3年 川西二)

3位 佐藤 唯(1年 川西二)  
ベスト8

荒井 直子(2年 綾 瀬)  
板垣真希子(3年 米沢二)  
遠藤 夢子(1年 長井南)

男子団体戦 代表決定戦

九里1-3南陽(県大会出場できず)

〈出場メンバー〉

伊藤友也(1年 米沢三)・斎藤健太  
(1年 米沢四)・佐藤和也(1年 米  
沢三)・石澤伸晃(1年 米沢三)・  
桑原健太(1年 米沢二)・渡部智  
貴(1年 長井南)  
男子シングルス  
ベスト16  
斎藤 健太(1年 米沢四)

ソフトボール部



1回戦 九里16-4米沢東  
決勝戦 九里7-5南陽 優勝

〈出場メンバー〉

加藤恵子(3年 川西一)・井澤美紅  
(3年 米沢三)・白井まゆ美(3年  
米沢一)・金子 舞(3年 米沢一)・  
佐藤美和(3年 米沢二)・遠藤美  
智(2年 米沢三)・丸山尚子(2  
年 米沢三)・青野友美(2年 米沢  
三)・佐藤恭子(2年 米沢二)・松田  
香織(2年 米沢二)・加藤明子(1  
年 川西一)・遠藤真名美(1年 川  
西二)・高橋彩子(1年 米沢三)・  
樋口晴夏(1年 南原)・渡部絵美

(1年 米沢二)・赤井橋美咲(1年  
米沢六)

山形県高等学校  
春季総合体育大会

陸上部



女子100m  
4位 鈴木 祐子(1年 赤湯)  
5位 横野 友紀(3年 玉庭)  
女子200m  
5位 横野 友紀(3年 玉庭)  
5位 横野 友紀(3年 玉庭)  
7位 鈴木 祐子(1年 赤湯)  
女子400m  
1位 山内 愛(3年 米沢四)  
7位 鈴木 祐子(1年 赤湯)  
女子1000m  
2位 山内 愛(3年 米沢四)  
女子4000m  
1位 山内 愛(3年 米沢四)  
4位 甘粕久美子(2年 米沢一)  
女子3000m  
2位 中村 瑞穂(2年 米沢七)  
女子走幅跳  
4位 酒井 珠美(3年 小国)  
女子砲丸投  
1位 平 江理子(3年 川西二)  
5位 山川 舞(1年 米沢三)  
女子円盤投  
2位 平 江理子(3年 川西二)  
女子やり投  
1位 平 江理子(3年 川西二)

女子4000m  
1位 酒井 珠美(3年 小国)  
鈴木 祐子(1年 赤湯)  
横野 友紀(3年 玉庭)  
山内 愛(3年 米沢四)

女子1600m  
2位 鈴木 祐子(1年 赤湯)

横野 友紀(3年 玉庭)  
甘粕久美子(1年 米沢一)  
山内 愛(3年 米沢四)

男子200m  
5位 渡部 誠(1年 米沢三)  
男子円盤投  
4位 加藤 正敏(2年 米沢三)

テニス部



女子シングルス  
優勝 情野 朋美(2年 米沢五)  
女子ダブルス  
優勝 情野 朋美(2年 米五) 組  
情野 歩美(1年 米五)

女子団体 ベスト8

〈出場メンバー〉

加藤 礼子(3年 川西一)・南 尚  
美(3年 米沢二)・情野朋美(2年  
米沢五)・情野歩美(1年 米沢  
五)・湖山徳子(2年 南原)

男子団体 ベスト8

〈出場メンバー〉

遠藤 慎介(3年 米沢三)・渡部  
裕史(3年 米沢二)・鈴木雄大(2

年 米沢三)・加藤広亮(1年 米  
沢三)・土屋正輝(3年 米沢一)

バレーボール部



1回戦 九里2-0酒田商業  
2回戦 九里0-2山形商業

〈出場メンバー〉

久保田沙織(3年 米沢二)・加藤恵  
(3年 米沢二)・井上奈月(3年 川  
西一)・山田ゆかり(3年 米沢一)・  
小林広美(3年 米沢一)・上地美  
里(3年 高島二)・渡邊鈴菜(3  
年 米沢五)・長澤江梨子(3年 米  
沢五)・高橋直子(3年 米沢三)・  
我妻 瞳(1年 高島二)・近野憲  
子(2年 米沢一)・古川瞳美(2  
年 飯豊)

バドミントン部



女子団体

1回戦 九里3-0山形学院

2回戦 九里3-2羽黒

3回戦 九里0-3山形北

県ベスト8

〈出場メンバー〉

鹿間幸恵(3年 米沢二)・鈴木博子  
(3年 米沢六)・佐藤明菜(3年 上  
郷)・高橋綾乃(3年 米沢四)・佐  
藤はるか(3年 米沢二)・山口美  
百子(2年 米沢三)・青木久美  
(2年 長井南)  
女子ダブルス

鈴木 博子(3年 米沢六) 組  
青木 久美(2年 長井南) 組

1回戦敗退 0-2 佐藤・長沢  
鹿間 幸恵(3年 米沢二) 組

山口美百子(2年 米沢三) 組

4回戦 0-2 原田・滝口組(山形北)

結果 5位 東北大会出場

女子シングルス

鈴木 博子(3年 米沢六)

2回戦敗退 1-2 沼田(新庄南)

鹿間 幸恵(3年 米沢二)

3回戦敗退 0-2 瀧口(山形商業)

山口美百子(2年 米沢三)

優勝 インターハイ・東北大会出場

ソフトボール部



2回戦 九里7-3 楯岡

準々決勝 九里7-11 長井

ベスト8

〈出場メンバー〉

加藤恵子(3年 川西一)・井澤美

紅(3年 米沢三)・白井まゆ美

(3年 米沢一)・金子 舞(3年

米沢一)・佐藤美和(3年 米沢

二)・遠藤美智(2年 米沢三)・丸

山尚子(2年 米沢三)・青野友美

(2年 米沢三)・佐藤恭子(2年

米沢二)・松田香織(2年 米沢

二)・加藤明子(1年 川西一)・遠

藤真名美(1年 川西二)・高橋彩

子(1年 米沢三)・樋口晴夏(1

年 南原)・渡部絵美(1年 米沢

一)・赤井橋美咲(1年 米沢六)

東北大会

陸上部



女子400mH

7位 山内 愛(3年 米沢四)

女子5000mW

5位 中村 瑞穂(2年 米沢七)

女子砲丸投

7位 平 江理子(3年 川西二)

女子やり投

6位 平 江理子(3年 川西二)

女子400mR

5位 山内 愛(3年 米沢四)

鈴木 祐子(1年 赤湯)

OG(原田真理子・堀江真由)

国民体育大会

(高知大会)

バドミントン部



1回戦 山形県 2-0 徳島県

ダブルス

瀧口(山商)

山口美百子

シングルス

山口美百子

2回戦 山形県 0-2 福岡県

山口美百子

2回戦 山形県 0-2 福岡県

2回戦 山形県 0-2 福岡県

ダブルス

瀧口(山商)

山口美百子

シングルス

山口美百子

山形県チーム二回戦で敗退

山口美百子

山口美百子

山口美百子

山口美百子

山口美百子

山口美百子

少年B大会

男子200m

2位 高橋 恵太(1年 米沢三)

3位 渡部 誠(1年 米沢三)

4位 遠藤 俊哉(1年 米沢三)

男子走幅跳

3位 舟山 一輝(1年 小国)

女子200m

1位 太田 明子(1年 川西一)

女子走幅跳

1位 太田 明子(1年 川西一)

女子砲丸投

1位 山川 舞(1年 米沢三)

2位 滝口 裕子(1年 赤湯)

インターハイ

陸上部



女子400mH 準決勝

4位 山内 愛(3年 米沢四)

女子3000mW 予選通過

中村 瑞穂(2年 米沢七)

女子4000mR 予選通過

酒井 珠美(3年 小国)

鈴木 祐子(1年 赤湯)

横野 友紀(3年 玉庭)

山内 愛(3年 米沢四)

置賜地区高等学校  
秋季総合体育大会

(新人戦)

サッカー部



1回戦 九里13-0 高島

2回戦 九里1-2 米沢工業

県大会出場出来ず

後の順位決定戦(5位から11位)にて

5位

〈出場メンバー〉

落合圭祐(2年 米沢四)・本間和

仁(2年 米沢二)・江畑智也(2

年 米沢四)・安部駿佑(2年 南

原)・佐藤宏樹(2年 南原)・赤木

良祐(2年 高島四)・鈴木翔太(2

年 米沢二)・山口恒介(1年 米

沢三)・桑原淳志(1年 米沢二)・

伊藤陽介(1年 米沢二)・滝口 恰

(1年 米沢二)・荒井友一(1年 米

沢四)・大富康史(1年 高島四)・新

野智広(1年 米沢五)・甘粕勇介

(1年 米沢六)・齊藤竜一(1年 米

沢一)・安部 翼(1年 南原)・高

橋 誠(1年 沖郷)・宮下将徳(1年 南原)



水泳部

女子400mメドレー

2位 安部奈緒美(2年 梨郷)  
50m自由形

5位 安部奈緒美(2年 梨郷)  
女子100m自由形

1位 笹原 雪華(2年 米沢四)  
50m自由形

1位 笹原 雪華(2年 米沢四)

バドミントン部



女子団体戦

1回戦 九里3-1荒砥

2回戦 九里2-3米沢東

決定戦1回戦 九里3-1長井高校

2回戦 九里3-1米沢商業

結果 3位 県大会出場

〈出場メンバー〉

山口美百子(2年 米沢三)・高橋恵美(2年 米沢一)・四釜恵美子(2年 宮内)・野澤有希(2年 米沢七)・青木久美(2年 長井南)・赤木由美(2年 米沢一)・齋藤奈美(2年 米沢五)

女子シングルス

1位 山口美百子(2年 米沢三)

3位 青木 久美(2年 長井南)

6位 高橋 恵美(2年 米沢一)

県大会出場

女子ダブルス  
1位 山口美百子(2年 米三) 青木 久美(2年 長南) 組  
県大会出場

男子団体戦

1回戦 九里0-3長井高校

決定戦1回戦 九里0-3長井工業

〈出場メンバー〉

下平隆司(1年 米沢二)・須田 悠(2年 米沢五)・嶋貴拓也(1年 長井南)・渡部純平(1年 米沢三)・菊地 勝(1年 長井北)

男子シングルス

下平隆司(1年 米沢二)・須田 悠(2年 米沢五)・嶋貴拓也(1年 長井南)・渡部純平(1年 米沢三)・齊藤貴久(1年 米沢四)

男子ダブルス

8位 須田井 悠(2年 米五) 嶋貴井拓也(1年 長南) 組

〈出場メンバー〉

下平隆司(1年 米沢二)・須田 悠(2年 米沢五)・嶋貴拓也(1年 長井南)・渡部純平(1年 米沢三)・齊藤貴久(1年 米沢四)

男子シングルス

8位 須田井 悠(2年 米五) 嶋貴井拓也(1年 長南) 組

男子ダブルス

8位 須田井 悠(2年 米五) 嶋貴井拓也(1年 長南) 組

ソフトボール部



2回戦 九里6-1長井

決勝戦 九里8-4米沢東

優勝

〈出場メンバー〉

遠藤美智(2年 米沢三)・丸山尚子(2年 米沢三)・青野友美(2年 米沢三)・佐藤恭子(2年 米沢二)・松田香織(2年 米沢二)・加藤明子(1年 川西二)・遠藤真名美(1年 川西二)・高橋彩子(1年 米沢三)・樋口晴夏(1年 南原)・渡部 絵美(1年 米沢一)

川西二)・高橋彩子(1年 米沢三)・樋口晴夏(1年 南原)・渡部 絵美(1年 米沢一)

バレーボール部



予選リーグ

九里学園 0-2 米沢東

九里学園 2-0 高島

九里学園 2-0 荒砥

決勝トーナメント

九里学園 1-2 米沢商業

九里学園 0-2 南陽

結果第6位

〈出場メンバー〉

古川瞳美(2年 飯豊中)・近野憲子(2年 米1中)・中村 綾(2年 米4中)・佐藤 愛(2年 高島3中)・登坂 千春(2年 米3中)・小関美穂(2年 米2中)・山田 梢(2年 沖郷中)・我妻 瞳(1年 高島1中)・堀内美佳(1年 高島1中)・北郷つかさ(1年 米4中)・嘉藤亮子(1年 飯豊中)・中村 茜(1年 米4中)・横山恵梨(1年 赤湯中)

山形県高等学校 新人大会

バドミントン部



女子団体戦

1回戦 九里3-2新庄南

2回戦 九里2-3鶴岡北  
結果 県ベスト8

〈出場メンバー〉

高橋恵美(2年 米沢二)・山口美百子(2年 米沢三)・青木久美(2年 長井南)・齋藤奈美(2年 米沢五)・四釜恵美子(2年 宮内)・赤木由美(2年 米沢一)・野澤有希(2年 米沢七)

女子ダブルス

山口美百子(2年 米沢三)

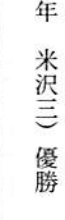
青木 久美(2年 長井南) 組

ベスト16

女子シングルス

山口美百子(2年 米沢三) 優勝

水泳部



女子400mメドレー

4位 安部奈緒美(2年 梨郷)

50m自由形

14位 安部奈緒美(2年 梨郷)

女子100m自由形

8位 笹原 雪華(2年 米沢四)

50m自由形

5位 笹原 雪華(2年 米沢四)

男子総合

14位 春川 友浩(2年 米沢二)

女子総合

15位 遠藤ひとみ(1年 米沢二)

18位 安部友希子(1年 米沢二)



ソフトボール部



準決勝 九里13-3 東海大山形  
決勝戦 九里4-13 山形学院  
準優勝 東北大会出場

〈出場メンバー〉

遠藤美智(2年) 米沢三三・丸山尚子  
(2年) 米沢三三・青野友美(2年) 米  
沢三三・佐藤恭子(2年) 米沢二二・  
松田香織(2年) 米沢二二・加藤明子  
(1年) 川西二二・遠藤真名美(1年  
川西二二)・樋口晴夏(1年) 南原・  
高橋彩子(1年) 米沢三三・渡部絵美  
(1年) 米沢二二

第81回 全国高等学校サッカー選手権大会 山形県大会

サッカー部



1回戦 九里3-0 加茂水産  
2回戦 九里1-0 山添高校  
3回戦 九里0-0 酒田南  
(PK5-4)  
準々決勝 九里1-2 山形商業  
結果県ベスト8

〈出場メンバー〉

高橋正樹(3年) 南原・落合圭祐  
(2年) 米沢四四・本間和仁(2年) 米  
沢二二・江畑智也(2年) 米沢  
四四・佐藤宏樹(2年) 南原・安部

駿佑(2年) 南原・鈴木翔太(2  
年) 米沢二二・赤木良祐(2年) 高  
四四・山口恒介(1年) 米沢三三・桑  
原淳志(1年) 米沢二二・伊藤陽介  
(1年) 米沢二二・滝口 怜(1年) 米  
沢二二・荒井友一(1年) 米沢四四・  
大富康史(1年) 高四四・新野智  
広(1年) 米沢五五・甘粕勇介(1  
年) 米沢六六・斉藤竜一(1年) 米  
沢二二・安部 翼(1年) 南原・高  
橋 誠(1年) 沖郷・宮下将徳  
(1年) 南原

第26回 山形県高等学校総合文化祭

ストリングアンサンブル部

九里学園・酒田中央・酒田西・新庄北  
楯岡・山形城北・米沢東の合同演奏  
曲目:ビゼー作曲「アルルの女」  
第1組曲

県高校文化連盟賞受賞

全日本吹奏楽コンクール 東北大会

吹奏楽部



銅賞受賞

第55回 置賜地区高校美術展

美術部



奨励賞 江口 達哉(2年) 長井南  
「悠 久」  
奨励賞 川井かずみ(2年) 米沢二二  
「希望」  
奨励賞 鈴木健太郎(2年) 赤湯  
「イスのある静物」  
奨励賞 鈴木 翔子(2年) 川西二二  
「静物」

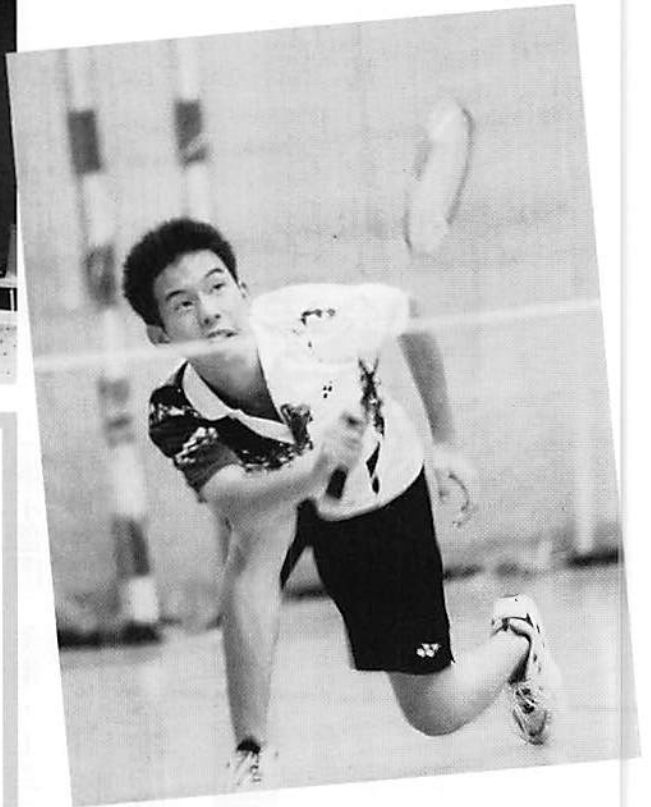
第26回 山形県高等学校総合文化祭 (展示部門 美術・工芸) 第50回記念 山形県高等学校美術展

美術部



「高校文化連盟賞」および「特選」  
江口 達哉(2年) 長井南  
「縄胎盛器〜暖の響」  
\*平成15年度 全国高等学校総合文化  
祭の山形県代表に選出される





### 九里学園高等学校体育文化活動後援会 会員募集

本会は九里学園高等学校における教育活動の中で重要な位置を占める  
体育・文化の部活動を、経済的に援助をする会です。  
会費は次の通りです。

- 特別会員  
年会費 一〇三、〇〇〇円  
(〇数は問わず)
- 法人会費  
年会費 一〇一〇、〇〇〇円  
(〇数は問わず)

新規会員を募集しております。  
御問い合わせは後援会事務局までご一報下さい。(担当・吉田)



#### ■発行

#### 九里学園高等学校部活動後援会

事務局 米沢市門東町1-1-72  
九里学園高等学校内  
TEL. 0238-22-0091  
FAX. 0238-22-0092